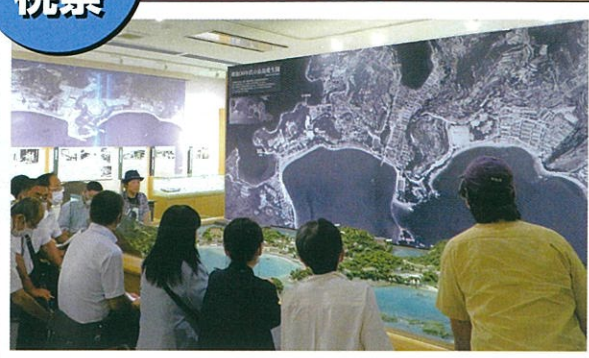


研修視察

長島愛生園(岡山県瀬戸内市)

R5.8/24(木)



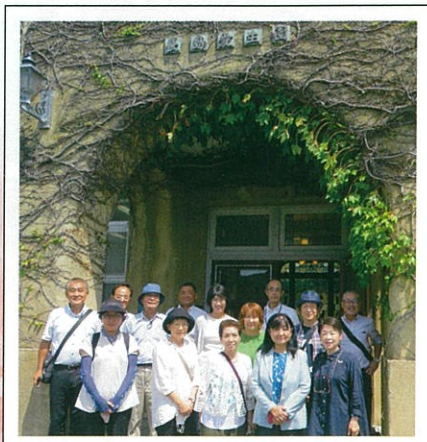
今なら、発熱しても身近な病院でお薬をもらうことができます。4年前のあの異常な混乱は何だったんでしょう。新型コロナウイルス感染症が正しく説明され、理解し、冷静に対応していたら、人を追い詰めるような差別や偏見は生まれなかったのかもしれない。

長島愛生園は美しい青い海と空に包まれていました。コロナで中断していたハンセン病の歴史を学ぶ研修が4年越しで実現し、パンデミックであらわになった人々の危うさとハンセン病の歴史が重なります。

「今ハンセン病の患者さんは何人入所されていると思

いますか。」学芸員さんのこんな問いから研修は始まり、「ゼロです。入所者の方は、治ったにもかかわらず、隔離政策が廃止されてもお、その後遺症からくる偏見から社会復帰できず、ふるさとへ帰ることを拒まれ、終の棲家として生活している人々です。」人間回復の橋ができ(1988)、人権侵害とも言える「らい予防法」が廃止され(1996)、国が責任を認め謝罪しました(2019)。自由と尊厳の回復を求めて闘った入所者の長い時間が胸に迫ってきました。一方で苦しい監禁生活の中から生まれた強い自治の力、独自の文化、中でも13ある国立療養所の中で唯一高校部を誘致し若者が社会へ巣立っていく道をつけた入所者のたくましさは忘れられません。

研修を終えて、差別や偏見につながる身近な出来事に敏感でありたいと思いました。 推進委員 村上 裕美



人権研修

京都フィールドワークに参加して

R5.9/30~10/1



9/30~10/1、人権研修(京都フィールドワーク)に参加しました。

(1日目)

- ・バスに乗車早々から研修の開始。戦時中における水島の亀島山地下工場での過酷な労働の歴史を学習しました。
- ・そして京都府宇治「ウトロ平和祈念館」を訪問。在日コリアンの方々から戦後からの困難を乗り越えられた歴史を展示物と職員による説明で学びました。開館準備の直前には、地区内への放火で貴重な資料を焼失されるなど大変なご苦労の末、作られた施設です。差別のない未来への思いを強く感じたプログラムでした。

(2日目)

- ・東山文化の形成には、身分的に虐げられた庶民が大きく貢献していること、柳原銀行の歴史についても学習。さらに醍醐寺では建設当時の歴史的背景の説明を受けました。
 - ・京都市学校歴史博物館においては、明治2年、全国に先駆けて作られた小学校64校の成り立ちの説明を受け、当時の貴重な品々も見学しました。
- 二日間に渡り、人権尊重の大切さを様々な角度から気付かされ学ぶ貴重な機会となりました。今後の活動に生かしてまいりたいと思います。 会長 松田 良一

地域に根ざした人権ふれあい活動 各学校園での人権の取組

講演会

北中学校区人権教育講演会 in 北公民館

R5.9/21(木)

演題 『音楽は心のビタミン』

講師 尺八奏者・医師 岸本 寿男 先生



心に沁みました。和の尺八とジャズの組み合わせが素敵でした。音楽って楽しいですね。

私も大正琴をしています。音の出し方、強弱、息継ぎを考えるだけでも、気持ちの表現になったら、もっと何かできそうな気がします。岸本先生はお医者様で、音楽が患者さんの心の治療になっていることを、体験を通して教えていただきました。人それぞれの受けとめ方や感じ方が、それぞれに良い結果を出していると思います。「尺八って歌っている様な音色だった」と言う人もいました。人間の生きる力と音楽の人生を支える力に圧倒されました。

楽しいお話と演奏会に、皆さん声をあげて笑い、ストレスも解消、満足感で一杯です。ピアノ担当のパートナー松本先生も臨機応変、どんな要望にも対応してくださり楽しませていただきました。素晴らしい先生方にお会いできた一期一会に感謝です。有難うございました。 推進委員 勝 餃子



参加者の感想

- ・とても素敵な時間を過ごすことができ、「心にビタミン」をもらえました。
- ・わかりやすい講演とすてきな演奏をありがとうございました。
- ・心に響く音色で、癒しの時間を過ごさせてもらいました。先生の穏やかな語り、多彩なお話で時間が経つのを忘れるくらいでした。

中庄幼稚園

日時 令和5年6月7日(水)

演題 『子どもの愛着体験を育む 親の関わり方』

講師 山陽学園短期大学 名誉教授 村中 由紀子 先生



子どもの言動の裏側にあるものを読み取り、どのようにかわっていけばよいかのヒントをたくさんいただきました。

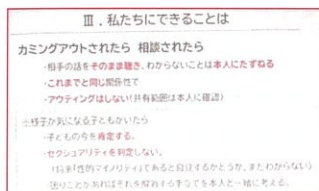
中庄小学校

日時 令和5年10月28日(土)

演題 『多様な性を知ろう ~セクシュアリティと人権~』

講師 プラウド岡山 鈴木 富美子 先生

「ひとの性とは何を指すのか」というテーマで講演をしていただきました。誰もが住みよい社会にしていくためには、性のあり方は多様であり、一人一人が理解する必要があると学びました。



北中学校

日時 令和5年11月18日(土)

演題 『今日から使える!自分も人も大切にできるコミュニケーション術』

講師 岡山コミュニケーション研修講演企画代表 稲田 尚久 先生

「~するべき」が人それぞれ違うように、自分の理想とのギャップが怒りのもとになっていることが分かりました。意見の違いを受け止めなければならないことにとても共感しました。



菅生小学校

日時 令和5年6月17日(土)

演題 『やってみよう アンガーマネジメント ~おこるをコントロールしてニコニコに~』

講師 岡山コミュニケーション研修講演企画代表 稲田 尚久 先生

笑いを交えながら、楽しく和やかな雰囲気の中で、怒ることは悪いことではないが、怒りで後悔しないようにすることが大切だということを学びました。



菅生幼稚園

日時 令和5年11月8日(水)

演題 『伝えたい言葉・歌 ~できる人ができる時にできる事を~』

講師 被災地復興支援団体 明日への架け橋KURASHIKI代表 内田 隆志 先生

東日本大震災の被災地への思い、子育ての大切な話、助産師の方の体験談などを歌を交えてお話ししていただきました。

